

堀口豊太 京都市立芸術大学退任記念展

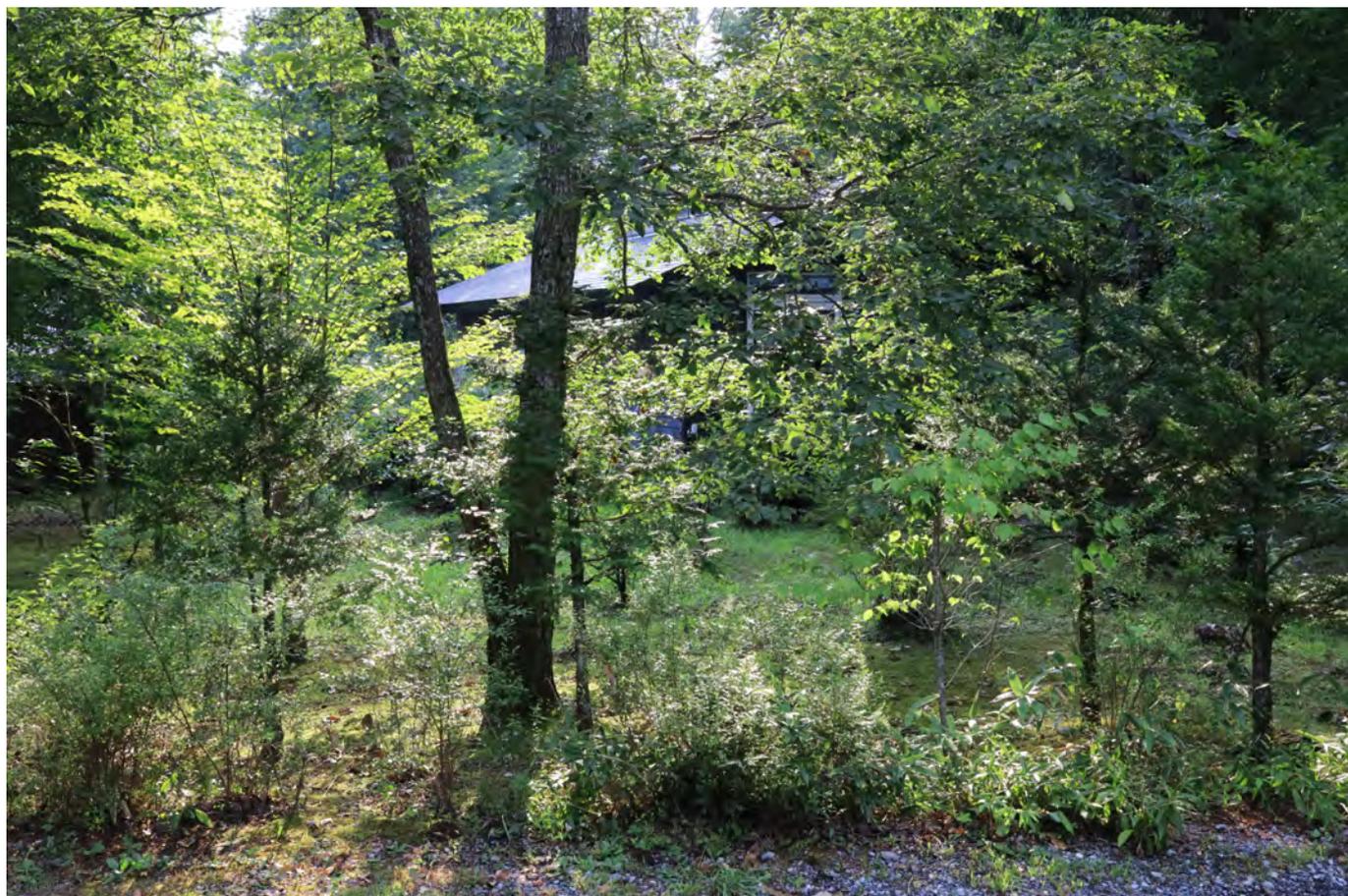
日本という場所

A Place Called Japan

Toyota Horiguchi Retrospective Exhibition

2021年3月27日(土)–4月11日(日) 11:00–19:00 月曜休館 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
ギャラリートーク 4月10日(土) 15:00

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、予定は変更または中止となる場合がございます。予めご了承ください。



明庵・道から家を見る

環境デザインは、自分をめぐる環境というものを意識し、それをみなのためにどうすれば良くできるのか、という問題について考え提案する領域です。備品、家具、内装、外装、建築、外構、造園、都市、田園、自然などと、規模や範囲は異なっても、それは最終的には公益に向けて個人がどのように貢献できるのか、といったことを探るのを目指しています。それは可能世界に目を向けるものです。

それに対して、写真という芸術は、現実世界に目を向けるものです。此処にこういう物がある、此処にこういう場所がある、ということ自体の不思議と面白さを見せてくれます。世の中を良くしようなどという公益の目的をもたず、私たちが何を見ているのか

—よりの確にいえば、何を見ているようで見ていないのかを示してくれれます。興味のないものですら興味深く見せてくれます。

この二つの相反する領域の間を行ったり来たりすることによって、その緊張関係の中から、それぞれの意味が私にとってより明らかになりました。日本という場所がもつ問題も面白さもより明らかになりました。

今回の展覧会を通し、その過程の一部を少しでもみなさまと共有できればと思っています。

堀口豊太

京都市立芸術大学 @KCUA
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

KCUA 140th Anniversary
京都芸大
140th
京都とともに 芸術とともに